

アクセスの 夏期講習

5年生・6年生
(授業内容と受付要項)



5年生の夏期講習

【5年生／教科別ねらい】

国 語

5年生後期からいよいよ受験勉強の態勢が本格化します。5年の夏期授業は5年生前期までの基本的な文章のとらえ方をもう一度確認するという位置づけで、通常授業前期20回のカリキュラムを圧縮した形で構成されています。

これまで文章の分野(物語・随筆・説明論説文)に必ずしも束縛されずに、読解のための手がかり(「話題」・「情景と心情」・「人物像」など)を把握することを目標にしてきました。夏以降は、より実践的な形式に近づけ、文章の分野別に総合的な学習をすすめていきます。その間の橋渡しとしての基本の確認ということになるわけです。知識分野に関しても前期で勉強した問題をもう一度やり直し、自分の弱点を把握・克服してもらいます。

算 数

2月から7月までの学習内容を再度確認しながら弱点補強を行います。『数の性質』は分数計算を含めた計算全般と数列の復習に、『割合』については、基本を徹底しながら『比』へとつなげていき、他の分野へ利用できるようにしていきます。『平面図形』は基本を再復習し、比を利用した図形(9月)へ橋渡ししていきます。また、夏期の最大のテーマである『速さ』では、『速さとは何か』を知り、基本から応用まで一通りの範囲を短期間に集中して学習することで理解と定着を図ります。さらに、算数授業の一環として、夏期カリキュラム終了後に4日間の日程で、短期集中計算講座として計算演習を行います。

社 会

産業別地理を通して、日本の現状とその問題点を考えることが大きなねらい。日本の農業・水産業について、さかんな地域・さかんな理由を理解するとともに、それぞれの問題点を通して、これからの農業・水産業が進むべき道を考えさせます。また、日本の工業の特色と工業のさかんな地域を理解するとともに、そのひずみとして現れた公害問題について考えさせます。この夏期授業で、農業、水産業、工業の発達が日本の交通、通信、貿易にどのような影響を与えているかを考えることにより、単なる暗記ではなく、さまざまな出来事の結びつきや関連性を広い視野に立って考える姿勢を育てます。そして、世界の中の日本の現状を理解することにより、9月から始まる歴史の学習に結びつけます。

理 科

前期に学習した内容を再度取り上げていきますが、その中でもとくに子ども達が苦手とする力学分野を中心に、数量的な扱いを演習することによって、しっかりとした理解につなげます。正比例・反比例の関係を確実に読み取り、問題を処理できるようにすることが目標です。どんな問題でも、つねに基本にもどることで対処できるものであることを経験してもらいます。ように、授業の中でも生徒一人ずつのノートをチェックしながら『手の動かし方』を身につけられるよう徹底的に指導していきたいと思います。植物と動物については、ほぼ完成に近づける程度までの知識の確認を行います。

【5年生／授業内容】

国 語		算 数	
回数	読解学習	テーマ	各回の内容
第1回	説明的文章の読解;話題をとらえる1	数の性質1	計算の工夫・単位換算
第2回	説明的文章の読解;話題をとらえる2	数の性質2	約数と倍数
第3回	説明的文章の読解;文章構成と具体例	数の性質3	植木算・等差数列
第4回	説明的文章の読解;乱文・段落整序	割合1	割合の基本と比
第5回	説明的文章の読解;対照的内容	割合2	濃度・売買算
第6回	説明的文章の読解;要旨	割合3	相当算・倍数算
第7回	物語の読解;場面・状況	速さ1	速さの基本・単位換算
第8回	物語の読解;言動・出来事	速さ2	速さの三公式
第9回	物語の読解;情景と心情	速さ3	速さと進行グラフ
第10回	物語の読解;人物像	速さ4	速さと比
第11回	物語の読解;暗示・象徴	速さ5	旅人算1・速さの和と差
第12回	物語の読解;主題	速さ6	旅人算2・比の利用
第13回	随筆の読解;事実と意見・感想	速さ7	旅人算3・周回路
第14回	随筆の読解;表現上の工夫	速さ8	時計算
第15回	韻文の読解;表現技法とその効果	速さ9	通過算1・通過
第16回	韻文の読解;作者の視点	速さ10	通過算2・すれ違いと追いこし
第17回		速さ11	流水算
第18回		速さ12	速さのまとめ
第19回		平面図形1	角度と面積
第20回		平面図形2	円とおうぎ形
社 会		理 科	
回数	各回の内容(テーマ)	各回の内容(テーマ)	
第1回	農業Ⅰ(稲作、畑作)	ばねとグラフ	
第2回	農業Ⅱ(畜産業、農業の問題点)	てんびんのしくみ	
第3回	水産業Ⅰ(日本の水産業の特色)	ばねとこの組み合わせ、浮力	
第4回	水産業Ⅱ(これからの水産業)	滑車と輪軸・力学総合	
第5回	工業Ⅰ(工業地帯・地域)	植物総合(知識の確認と演習)	
第6回	工業Ⅱ(主な工業都市)	振り子の動き、物の運動	
第7回	工業Ⅲ(伝統工業)	水溶液の分類、性質	
第8回	工業Ⅳ(公害、環境問題)	ものの溶け方(溶解度)	
第9回	交通(交通の発達とはたらき)	中和反応、金属と水溶液	
第10回	通信・商業(通信手段・商業のしくみ)	動物総合(知識の確認と演習)	
第11回	貿易Ⅰ(日本の貿易の特色)	気体と性質と発生、環境破壊	
第12回	貿易Ⅱ(日本の貿易相手国)	物の燃焼	

6年生の夏期講習

【6年生／教科別ねらい】

国 語

夏までの授業で培った基本的な読解方法の確認と定着を図り、ふだん触れられない広い教養に学ぶことで、中学入試で必要とされる思考力を養い、論理性の構築を図ります。そのため、全28回の授業を三段階に分け、段階的な実力養成を図ります。第1～8回は『論理的な思考力のために』。基本的な読解方法を通して論旨を明確化し、その確かな発想に立脚した記述力の獲得を目指します。次に、第9～16回は『テーマアプローチ』。入試に頻出のテーマに着目、中学入試国語の「現在の風」、奥深さを意識させ、子どもたちにより広い視点を与えます。そして第17～28回においての『実戦演習』。秋以降の過去問題学習へ向けて、設問間にあるつながりやヒントなどの「作問者の意図」をとらえるといった実践的な解法に取り組みます。

算 数

中学入試の重要分野として、①割合、②速さ、③平面図形、④立体図形の4分野を中心に前期授業で学んだ基本問題の復習から応用問題までの習熟を図ります。中学入試では、この4分野の出題数も多く、得点源であり合否を左右いたします。そこで、夏期中に4分野の実力をアップして、後期からはじまる過去問題などの入試対策につなげていきます。1日80分2コマの授業を1回とし、全14回の演習中心の授業を行います。テキストの各回の1ページ目は、計算・一行問題を出題し、まず算数のウォーミングアップ行うとともに、上記4分野以外から出題して、総合的に基本問題の復習を行います。2ページ目以降は、各回のテーマにそった基本問題から応用問題までがあり、クラスの状況に応じた問題を選択して解き、その解説をいたします。また、復習用教材として『算数ファイナル』（出版社：JESDA）を使用して、このテキストの各回の該当分野を事前に自宅学習してから授業に臨んでもらい、また、中学入試頻出問題の全般的な基礎固めに利用します。

社 会

地理・歴史・公民の基本事項の確認と、問題演習を通して応用力を育成することがねらい。社会の入試問題のはしらである地理・歴史・公民を、講義を通して基本事項の理解を深めるとともに、問題演習を通して弱点補強と応用力を育成していきます。地理分野では、グラフ・統計を通して、日本の各産業の特色と問題点を理解させていき、歴史分野では、史料や図の読みとり・年表の確認を通して、テーマ毎の歴史の大きな流れを理解させていきます。公民分野では、日本国憲法の三原則・三権分立のしくみ・国際連合についての基本事項を確認し、世界の中で日本の果たすべき役割を考えていきます。夏期授業で、地理・歴史混合などの複合的な理解を図る学習へと結びつけていきます。

理 科

9月から始まる実践的な演習を前に、全単元の総チェックを行っていきます。中学受験で求められる、物理・化学・生物・地学の基本知識の整理をし、問題演習を通じてそれらの知識の定着を図りながら、同時にその基本知識をどう応用につなげていくのかを体得していきます。また、各生徒の弱点を発見し、知識を補強するための確認テストを行っていきます。この夏期授業は、入試本番に向けて力を伸ばしていくための新たなスタートラインであるともいえます。

【6年生／授業内容】

回数	国語		算数	
	読解学習		テーマ	各回の内容
第1回	論理的思考のために(1)対立の概念		割合Ⅰ	割合と比
第2回	論理的思考のために(2)構造的把握		割合Ⅰ	割合と比
第3回	論理的思考のために(3)論理の具体化		割合Ⅱ	相当算と倍数算
第4回	論理的思考のために(4)論理の抽象化		割合Ⅱ	相当算と倍数算
第5回	論理的思考のために(5)論理の展開		割合Ⅲ	濃度に関する問題と売買算
第6回	論理的思考のために(6)表現と意図		割合Ⅲ	濃度に関する問題と売買算
第7回	論理的思考のために(7)着眼点		速さⅠ	速さと比
第8回	論理的思考のために(8)発想の転換		速さⅠ	速さと比
第9回	テーマアプローチ(1)生命と人生		速さⅡ	旅人算と通過算
第10回	テーマアプローチ(2)科学と自然		速さⅡ	旅人算と通過算
第11回	テーマアプローチ(3)異文化と日本		速さⅢ	流水算と時計算
第12回	テーマアプローチ(4)言語と思考		速さⅢ	流水算と時計算
第13回	テーマアプローチ(5)家族との対立と成長		平面図形Ⅰ	平面図形の性質
第14回	テーマアプローチ(6)友人との対立と成長		平面図形Ⅰ	平面図形の性質
第15回	テーマアプローチ(7)死と世界観の変容		平面図形Ⅱ	平面図形の求積
第16回	テーマアプローチ(8)自己の認識と他者理解		平面図形Ⅱ	平面図形の求積
第17回	実戦演習(1)長文記述型①		平面図形Ⅲ	平面図形と比
第18回	実戦演習(2)長文記述型②		平面図形Ⅲ	平面図形と比
第19回	実戦演習(3)長文記述型③		立体図形Ⅰ	立体図形の求積
第20回	実戦演習(4)長文記述型④		立体図形Ⅰ	立体図形の求積
第21回	実戦演習(5)選択肢に克つ①		立体図形Ⅱ	立体図形と比
第22回	実戦演習(6)選択肢に克つ②		立体図形Ⅱ	立体図形と比
第23回	実戦演習(7)選択肢に克つ③		平面図形Ⅲ	立体図形の切断
第24回	実戦演習(8)選択肢に克つ④		平面図形Ⅲ	立体図形の切断
第25回	実戦演習(9)総合バランス型①		立体図形Ⅳ	水位変化と水そうグラフ
第26回	実戦演習(10)総合バランス型②		立体図形Ⅳ	水位変化と水そうグラフ
第27回	実戦演習(11)総合バランス型③		立体図形Ⅴ	反射と影
第28回	実戦演習(12)総合バランス型④		立体図形Ⅴ	反射と影
回数	社会		理科	
回数	各回の内容(テーマ)		各回の内容(テーマ)	
第1回	日本の国土・地形・気候(日本の主な川・平野・山脈と気候の特色)		植物Ⅰ(種子、植物の分類)	
第2回	日本の農業の特色(稲作・畑作・畜産業のさかんな地域)		植物Ⅱ(蒸散作用、光合成)	
第3回	日本の農業の問題点・水産業Ⅰ(食料自給率、水産業の特色と問題)		植物Ⅲ(花のつくりと働き、森林の植物)	
第4回	日本の農業の問題点・水産業Ⅱ(食料自給率、水産業の特色と問題)		こん虫、植物の分類	
第5回	日本の工業の特色Ⅰ(工業の種類と特色、伝統工業)		水中の生物、食物連鎖	
第6回	日本の工業の特色Ⅱ(工業の種類と特色、伝統工業)		人体Ⅰ(消化)	
第7回	工業のさかんな地域・公害Ⅰ(太平洋ベルト、環境破壊)		人体Ⅱ(循環)	
第8回	工業のさかんな地域・公害Ⅱ(太平洋ベルト、環境破壊)		人体Ⅲ(呼吸、人の誕生)	
第9回	人口問題・交通Ⅰ(日本の人口問題、交通機関の働き)		地層(川の三作用、地層のでき方、岩石の分類)	
第10回	人口問題・交通Ⅱ(日本の人口問題、交通機関の働き)		天体Ⅰ(太陽の日周運動、地温と気温)	
第11回	資源と貿易Ⅰ(水・森林・鉱物・エネルギー資源、貿易相手国)		天体Ⅱ(太陽の年周運動、南中高度、時刻)	
第12回	資源と貿易Ⅱ(水・森林・鉱物・エネルギー資源、貿易相手国)		天体Ⅲ(気候)	
第13回	政治史Ⅰ(各時代の政治・法制史のまとめ)		天体Ⅳ(月の満ち欠け、日食、月食)	
第14回	政治史Ⅱ(各時代の政治・法制史のまとめ)		天体Ⅴ(星座)	
第15回	社会・経済史Ⅰ(各時代の土地制度・税制度のまとめ)		音と光	
第16回	社会・経済史Ⅱ(各時代の土地制度・税制度のまとめ)		熱(熱の伝わり方、三態変化)	
第17回	外交史Ⅰ(各時代の外交関係のまとめ)		力Ⅰ(てことばね)	
第18回	外交史Ⅱ(各時代の外交関係のまとめ)		力Ⅱ(滑車と輪軸)	
第19回	文化史Ⅰ(各時代の文化のまとめ)		力Ⅲ(力学総合)	
第20回	文化史Ⅱ(各時代の文化のまとめ)		力Ⅳ(ふり子の動き、転がる、落ちるおもりの働き)	
第21回	人物史Ⅰ(人物を中心にした歴史のまとめ)		物質とエネルギーⅠ(水溶液の性質と分類)	
第22回	人物史Ⅱ(人物を中心にした歴史のまとめ)		物質とエネルギーⅡ(溶解度)	
第23回	日本国憲法の三原則Ⅰ(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)		物質とエネルギーⅢ(中和)	
第24回	日本国憲法の三原則Ⅱ(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)		物質とエネルギーⅣ(気体の性質と発生)	
第25回	三権のしくみ・予算・地方自治Ⅰ(三権分立、予算、地方自治のしくみ)		物質とエネルギーⅤ(燃焼)	
第26回	三権のしくみ・予算・地方自治Ⅱ(三権分立、予算、地方自治のしくみ)		電流Ⅰ(電流の強さとまとめ電球の明るさ)	
第27回	国際連合・国際関係Ⅰ(国際連盟・国際連合のしくみ、国際貢献)		電流Ⅱ(電磁石)	
第28回	国際連合・国際関係Ⅱ(国際連盟・国際連合のしくみ、国際貢献)		作図・記述・実験器具の使い方	

アクセスの夏期講習日程

	7月							8月												
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
3年生				1	2	3	4	テ												
4年生				1	2	3	4		5	6	演	テ		7	8	9				
5年生		※1	※2	3	4	5		6	7	8	9	10		テ	11	12				
6年生	※1	※1		2	3	4	5	6		7	8	9	10	11		12	※13~15	※16~18		

◎授業回数の日程が授業日です。◎休校期間は、授業及び受付業務共にお休みとなります。

	8月																	9月
	12~17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1		
	月~土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
3年生	休校期間																	
4年生				10	11	※12	※13	演	テ					計算演習	※			
5年生		13	14	15	16		※17	18	19	※20				計算演習	※	テ		
6年生		テ	19	20	21	22		23	24	25	26		27	28	テ			

※の授業日は、授業時間帯が変更になります。

夏期授業回数

3年生／国2回・算2回

4年生／国8回・算10回・社4回・理4回＋算数演習2回＋計算演習

5年生／国16回・算20回・社12回・理12回＋計算演習

6年生／全科目28回

夏期授業時間帯

3年生／ 9:00～10:20

4年生／10:30～13:30 ※8/22、23は14:00～16:50

※8/28～8/30は14:00～16:50、8/31のみ9:30～10:50

5年生／ 9:00～13:30 ※7/24、25は15:30～20:00

※8/23、26は14:00～18:20

※8/28～8/30は15:30～16:50、8/31のみ11:00～12:20

6年生／14:00～20:00 ※7/23、24は17:00～20:00

※8/8～8/11は9:10～18:20

夏期講習会費(消費税含む)

3年生／3年生は体験授業のため無料です。

4年生／一般生会費 81,000円

アクセス生会費 79,380円

5年生／一般生会費 135,000円

アクセス生会費 131,760円

6年生／一般生会費 189,790円

アクセス生会費 183,980円

☆兄弟ともにアクセスの通室生である場合に、下のお子様に対して兄弟割引が適用されま
す。(兄弟割引会費は通室生申込み受付要項参照)

☆夏期受講の一般生で、上のお子様ที่アクセス生もしくは卒業生の方はアクセス生会費が
適用されます。(通室生割引適用)

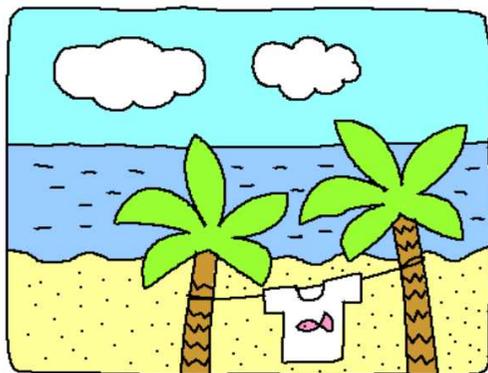
夏期講習の受付要項(一般生対象)

◎アクセスの夏期講習はどなたでも受講できます(学年によりクラス編成をすることがあります。上位クラスでの受講を希望する場合は、教室までご相談ください。)

◎通室生が全員受講しますので、教室定員には限りがあります。定員になり次第、募集を締め切ります。

◎アクセスでは会費の納入を銀行振込でお願いしています。夏期講習への参加を希望される方は、アクセス教室窓口にて申込用紙をご提出いただいた後、アクセス所定の銀行口座をご案内します。

◎夏期講習に関するご質問、ご相談などございましたら、最寄りのアクセス教室までお気軽にお問い合わせください。



アクセス新百合ヶ丘校 044(969)3969
アクセスあざみ野校 045(905)1871

年

アクセス夏期講習申込書

2019年 月 日

アクセス番号				電話番号				<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>アクセス 夏期講習 申込書</p> <p>会費</p> </div> <p>申込受付確認</p>
生徒氏名				保護者名				
生年月日				小学校名				
住所(〒)				小学校				